

# 迅速、的確な 消防・救急活動を推進

## 消防通信指令システム更新!



情報の収集能力が強化された消防通信指令室

119番と同時に通報者の情報を表示

市消防本部は、近年の大雨による災害や出動要請の増加などにより迅速に対応するため、新たな通信システムを導入。通報場所を的確に特定し、災害現場に必要な車両が自動的に選定されるため、現場への到着時間の短縮が期待できます。

### 携帯電話の通報箇所も特定

新しくなった消防通信指令室には、2席の指令台や70インチの表示盤3面などを設置。119番通報を受けると、指令台のディスプレイに通報者の位置情報や付近の地図が表示されます。携帯電話からの通報で住所がわからない場合

でも、GPS（人工衛星で場所を測位するシステム）により位置情報を把握。救命率の向上や災害による被害の軽減にもつながります。

### 指令室と車両が情報共有

消防・救急車両には、車両運用端末装置を設置しました。ディスプレイに通信指令室の画面と同じ地図や災害対応に必要な情報を表示。GPSも搭載されているため、通信指



出動中でも情報の閲覧が可能



隊員にカメラを取り付け、モニターで情報を共有できる

指令室から各車両の動態や位置が把握できます。  
**現場の映像も表示**  
現場の状況把握や活動の指揮・支援に役立てるため、災害現場で隊員が撮影した映像を伝送できるシステムも導入。消防本部に設置したモニターに、リアルタイムで映し出せるようになります。また、市の災害対策本部へも映像を配信することができます。

## 119番は落ち着いて

119番通報は、助けを求めると消防と結ぶ「命のホットライン」。ダイヤルすれば消防通信指令室につながります。

### 大事なことは

- ・何が起きたのか
- ・どこで起きたのか
- ・どういう状況か
- ・通報者の氏名・連絡先

を伝えることです。

通信指令担当員の質問に落ち着いて答えてください。正確な通報が、命を救うことにつながります。

## 平成27年度 国保料

# 3年連続据え置きに

市は2月9日、平成27年度の国民健康保険（国保）の運営について、市国民健康保険運営協議会（木下芳信会長）から答申を受けました。1人あたりの国保料は据え置きで、関連予算案を3月定例市議会に提出しています。



木下会長から答申を受ける山崎市長

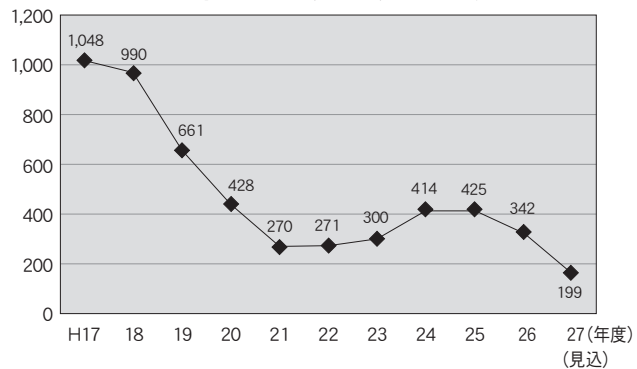
### 前年と同水準の保険料

平成26年度の保険料は、基金の有効活用などで収入を確保し、据え置きとしました。27年度も保険給付費の伸びや制度改正、経済状況の厳しさなどを想定する中、不足分を基金で対応することで、3年連続の据え置きとします。1人当たり年平均の国保料は、医療給付費分が4万9562円、後期高齢者支援金分が1万8577円、40〜64歳の加入者が対象の介護納付金分は2万5143円です。

### 厳しい運営状況続く

国保は、病气やけがをしたとき安心して医療が受けられ

### 国保準備基金（貯金）の推移



(見込)

るようみんなで助け合う制度です。近年、高齢化の進行や医療技術の進歩などで、医療費は年々増加。国保の財政運営はますます厳しい状況になっています。基金も減少しており、平成27年度末の残高は1億9918万9千円となる見込みです。

市は引き続き、医療費の適正化や特定健診などの保健事業を推進するとともに、収納率の向上をはかり、安定した運営に努めます。

## 善聞 語録



⑥1

### Fの壁

Fとはギターコードの一つで、人差し指で6本の弦を一度に押える技法で奏でる和音。ギター経験のある人なら誰しも最初に経験する難関で、この段階で挫折する初心者も多い。ゴルフで例えるなら100のスコアの壁か。何事にも節目となる難関があるが、逆にこの壁を突破した先には、それまでと異なる景色も開けてくる。

2月に入って市長就任6年目、そして齢57歳になった。数字上は中途半端な区切りだが、自分の中では今までと異なる何かを感じている。微妙な変化としか表

現できないのだが、地に足が着いた感覚というか、自らの言葉で語れる場面が増えたというか。あえて例えるなら、ギターでFコードの和音が初めて響いた瞬間の感覚に似ているのである。

Fを難なく奏でることが可能になると、弾けるレパートリーの数も格段に増える。多くの曲にFコードが含まれているためだが、それが手伝って練習にも熱が入るから更に上達が加速する。想い返すにゴルフも100のスコアを切ったところが一番楽しく、そして熱心であった。

しかしながらFの次には新たにBという壁が立ち上がる。ゴルフにも100の次は90というハードなステップが待ち受けている。政治の世界も「一寸先は闇」と称されるように、決して甘いものではないことは十分に承知しているつもりだ。

山崎善也（綾部市長）





## 思い出詰まった校舎とお別れ

上林小・中一貫校開校に伴い、八津合町の上林小学校は今年4月から新校舎に移転します。2月28日には「校舎お別れ式」が開かれ、児童が歌や太鼓を発表したほか、地元住民も思い出を語り、現校舎との別れを惜しまました。



## いのち輝いて生きる大切さ訴え

人権教育講演会（市人権教育推進連絡協議会など主催）が2月21日、並松町の市民センターで開催されました。当日は、不登校や差別で悩む子どもとその保護者などの支援を行っている鳥取県の坂田かおりさんが講演。同和地区出身で、自身も差別と闘ってきた経験談を交えながら、誰もが「いのち輝いて生きる」ことの大切さを約430人の聴衆に訴えました。

## 農山村地域の可能性話し合う



市や里山ねっと・あやべなどで作る「綾部里山交流大学」と立命館大学は2月28日、東京都千代田区で「第2回フロンティア・デザイン・フォーラム」を開催しました。地方活性化に取り組む若者らによる事例報告に続き、グループに分かれて農山村地域における「新しい未来の可能性」などを討論。綾部市からは山崎市長も参加し、都市住民らと意見を交わしました。

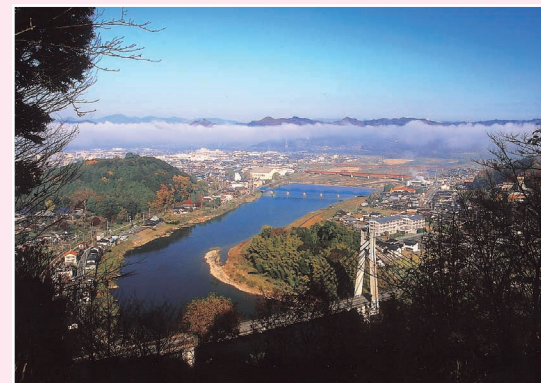
## 6年生のお兄さん、お姉さんありがとう



梅迫町の東八田小学校は2月22日、「6年生を送る会」を行いました。1～5年生が工夫を凝らした劇やダンスを発表。6年生は1年間の思い出を劇で表現したほか、登下校でお世話になった「見守り隊」の皆さんに感謝の言葉を送りました。最後は全員で「またあえる日まで」を合唱。卒業を前にした6年生の門出を祝う1日となりました。



**大賞** 「星の降る夜」  
蘇理 忠則さん（福知山市）



**特選** 「霧晴れて」梅原 隆さん（上野町）



**特選** 「サンタパレードだ!!」中山 茂樹さん（上野町）

# 「輝くあやペ再発見」第14回 あやペ観光写真コンテスト 入賞作品発表

市観光協会（平野正明会長）はこのほど、第14回あやペ観光写真コンテストの入賞者を発表。大賞（市長賞）に蘇理忠則さんの作品が選ばれました。



**特選** 「秋桜の咲く頃」  
芦田 千賀子さん（私市町）



**特選** 「立岩にアタック」  
築山 忠則さん（京丹波町）



**特選** 「親子のバラ園」  
塩見 芳隆さん（京都市）

**52人、162点の応募**  
昨年10月から今年1月末まで、綾部の景色や祭り、イベントの写真を募集。市内外の52人から162点の応募があり、大賞1点と特選5点、入選15点が選ばれました。  
大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです（順不同敬称略）。  
▽村上誠（神宮寺町）▽荻野靖巳（味方町）▽川北美鈴（栗町）▽鈴木隆（岡町）▽村上正美（味方町）▽西岡正則（田野町）▽阪田清（舞鶴市）▽山内きみ子（福知山市）▽木崎誠（同）▽白木勇治（同）▽芦田正巳（同）▽岡本晃一（同）▽堀島信之（同）▽上田清（宮津市）▽岡本一高（八幡市）。  
入選作品は、3月中旬からあやペ観光案内所（駅前通り）で展示。以降は市立病院（青野町）や天文館（里町）などで、約1か月ごとに巡回展示する予定です。